



中丹高次脳機能障害者と家族の会

“さくらの会”便り

No109 2017.9.30

発行責任者
会長 田中 明
編集責任者
事務局長 上原 栄
TEL.0773-22-7859

—リラックスできて、はげまし合うところ、勇気を与えるところ—

魅力ある歌声が響く カラオケ交流会開く

平成29年度の行事（会員相互の交流の場）として、綾部市大島の「まねきねこ」でカラオケ交流会を開催しました。

第1回（5月28日）13名、第2回（7月30日）10名の参加がありました。

若者の歌、中高年の歌、懐メロの歌など3時間を楽しく過ごしました。 参加者どうしの交流や普段聞けない歌に拍手、会員間の新しい発見もありました。初めてカラオケ交流会に参加された方も交えて、それぞれに魅力ある歌声が響いていました。

飲み物代は、個人負担としていますが、会場費相当は「さくらの会」で負担しています。

参加申込みは不要です。1時間でも2時



間でも時間があれば参加可能ですので、気軽に参加して下さい。

次回は、10月29日（日）午後1時30分から「まねきねこ」です。 カラオケ交流会を盛り上げていきましょう。

チラシ・ポスター発送作業

19回脳外傷・高次脳機能障害リハビリテーション講習会（11月26日開催）チラシ・ポスターの発送作業（438事業所等）を、さくらの会として受託し、9月16日（土）6名で作業を行い、9月19日（火）に438事業所すべて郵送しました。急な呼びかけにも関わらず集まって頂きました皆さん、有難うございました。

あんしん財団の会議で発表

JR西日本あんしん社会財団主催「第7回公募助成成果発表会及び交流会」が平成29年7月30日（日）にホテルグランヴィア大阪で開かれました。

そのなかで、平成28年度JR西日本あんしん社会財団の活動助成を受けて、さくらの会が実施したグループ訓練の活動成果について、上原が参加しポスター発表で報告しました。

多くの方にポスターを見て頂きながら、他の団体の方とも交流を深めることができました。



【お知らせの1】

高次脳機能障害グループ訓練フォローアップの2回目は、「病院から地域を繋ぐ」～脳に障害があるひとを地域で支えるために～として、下記のとおり開催します。

記

平成11月19日（日）

午後1：00～4：15

場所：市民交流プラザふくちやま

講演：脳に障害があるかたへの支援の方法について

講師 本多先生

・他職種連携ワークショップ：お互いの仕事を知りましょう！

（対象）京都府北部で働くセラピスト、医療支援スタッフ等、高次脳機能障害グループ訓練参加者と家族

【お知らせの2】

第19回脳外傷・高次脳機能障害リハビリテーション講習会として「高次脳機能障害者が地域で生きる」をテーマとして、下記のとおり開催されます。さくらの会からも報告・発表があります。是非ご参加ください。

記
平成29年11月26日（日）
午後1：00～4：00
場所：綾部市保健福祉センター
・講演：「脳損傷者家族の想い、家族活動がもたらしたもの」
講師：堺脳損傷協会
会長 納谷保子さん
・報告 中丹高次脳機能障害者と家族の会「さくら」他
・発表 当事者・家族から

《編集後記》

▼心配していた、台風も何とか過ぎ去りました。地域の敬老会が中止になった所もあったようですね。秋になると、イベントが各地であります。さくらの会の行事にもぜひ参加を！

▼コスモスが揺れてます、どこからかキンモクセイの香りが流れてきます。若いころの思い出が浮かんできました。

▼食欲の秋！ ブドウを買いました。甘くておいしかったです。梨もみずみずしかったです。しその実を煮てみました。失敗しました。果物もけっこう糖分が多いとか。体重や糖分の取り過ぎが気になります。

▼「読書の秋」でもありますね。でも、目がは衰えてきて、長時間読むのはだめになりました。体力の衰えは確実です。